

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ケアステキっず精華				公表日 2026年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	医療的ケア児と他児童とのスペースが分かれている	床面積は十分あるがレイアウトで業務の効率が落ちている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%		日により出勤人数にばらつきがみられるためシフトを組む際にばらつきが出ないように組むようにしていく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	机の配置やマット等、安全に過ごしてもらえるよう環境整備をしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	50%	50%	始業前には清掃、消毒をしている	出勤時間にはばらつきがあるため掃除できる職員が限られてくる 当番制にする等検討する必要がある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	状況に応じてパーティションを活用し対応している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	モニタリングを実施し評価、修正をおこなっている	一部の職員での実施となっているため、全職員で実施出来るようにしていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%		全部に対応が出来ていないため意向等を把握し改善出来るよう努める	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	カンファレンスを行い共有して改善に努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	67%	33%	○個々で研修を受講している ○動画研修を月毎に受講している	今後も継続してスキルアップ出来るよう受講をすすめていく	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	計画書を作成して定期的に評価、修正を実施している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	67%	33%	○検討されている 内容も共有されている ○職員の共通理解を心掛け、そのたび報告をしている	職員全員で検討し作成をしていく必要がある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	67%	33%	口頭やコミュニケーションツールで共有されている	しっかりと共有できる時間が必要	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	個々に合わせ状態変化に応じて工夫されている	記録ソフトを使用して日々記録、確認をしているが職員全員が確認する時間を設ける等の対策が必要	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%	左記をふまえて計画書の作成をしている	計画書を職員全員が把握・理解出来るような時間確保等の取り組みが必要	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	月毎にプログラムカレンダーを制作している	職員全員で立案できるようにしていく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	指示書計画書確認のもと状態に合わせて実施をしている	個々に合わせたより良いプログラムを立案できるように努める	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	他社との交流を図る時間と個別時間と日により対応している		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	コミュニケーションツールを使用し情報共有をしている	出勤時間にばらつきがあり全員揃ったの打ち合わせが出来ていないため抜けのないようにしていく	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	出退勤時間にばらつきがあるため紙面やコミュニケーションツールを使用し職員全員で情報共有している	退勤時間にばらつきがあり全員揃ったの打ち合わせが出来ていないため抜けのないようにしていく	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録ソフトを使用し支援内容を記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリングの実施と評価、見直しを実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	67%	33%	支援計画に沿って支援をしている	職員全員が把握できるようにしていく必要がある
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	83%	17%	自己決定できる利用者様が少ないため、中でもサインを見逃さないように工夫している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	参画する前は情報収集を行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	利用開始前に多方面より情報収集を行い利用開始に備えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校より行事予定表をいただいている また送迎に情報交換をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%		どのような交流がはかれるのかの情報収集が出来ていないため今後出来るように努める
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	シフト等の兼ね合いもあるがなるべく参加はしている	参加する職員にかたよりがあるため参加出来る職員を増やしていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	送迎時や電話等での相談があれば対応し支援している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	17%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	67%	23%		作成はしているが家族様の意向を確認する機会を定期的に設ける必要がある
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎時にご自宅や学校での話を聞き必要時はアドバイスをしている	○職員一人で解決しないよ持ち帰り全員で共有していく ○今後も寄り添いながら支援をしていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	法人主催の祭り年1回実施している	家族同士が交流する機会や場がなかなか設けられず今後の課題とする
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	管理責任者とともに迅速に対応をしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	83%	17%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	サインを見逃さないように支援をしたり、カードを使用し意思疎通、意思決定をしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%		現状出来ていないため今後検討していく

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	66%	34%	契約時に説明をしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	34%	66%		定期的に訓練を実施出来るようにしていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	てんかん発作は家族様より動画もいただき共有している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	指示書の確認をし表を作成し職員全員が確認できる場所に表示している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%		職員全員が安全計画を周知出来また支援が出来るように努める
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例があった場合は報告書を作成し職員間で共有を行い再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	○定期的に委員会を実施し職員へフィードバックをしている ○動画研修を受講している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に説明をしている	